

## 外線電話対応の委託に伴うお願い

この度、当院では電話対応におけるさらなる品質向上と、より円滑な医療提供体制の構築を目的として一部の外線電話対応業務を専門の電話対応サービス会社へ施行委託することとなりました。それに際し、皆さま方におかれましては、お電話頂く内容について具体的なご要件をお伝え頂く必要があります。具体的には、次のとおりです。

これまで：「処方箋内容の件で、確認したい」

これから：「患者(氏名)さんの処方箋内容の件で、確認したい」

なお、個人情報や通話内容の取り扱いについては、当院のプライバシーポリシーに基づき委託先とも厳正に契約を交わし、適切な管理を徹底しております。

今後も皆さまにとって安心・安全な在宅医療の提供を目指して参りますので引き続きご理解とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

## まずは地域支援室にご相談ください

- 在宅でどんなことができるの？
- 費用はどれくらいかかるの？
- 病院から自宅に連れて帰りたいけど、どうしたらいいの？

看護師  
横井はるか



看護師  
中島由加

在宅療養に関わる様々な疑問やお悩みに経験豊富なスタッフが为您解答します。

### 当院へのご依頼方法

#### ① みどり訪問クリニックに電話

052-680-7030に電話してください。事務が患者さんの情報を簡単にお伺いします。

#### ② 患者依頼シートの記入とFAX

QRコードから患者依頼シートをダウンロードしていただき、記入後FAXをお願いします。(ページ下部にごございます。)



#### ③ 担当者から連絡します

患者依頼シートを確認後、当院の地域連携室から折り返しご連絡させていただきます。



## みどり訪問クリニック

愛知県名古屋市緑区箕山1-109-1シティコーポ小坂南102号

お問い合わせ

052-680-7030

【HP】 <https://midori-hel.net/>

【FAX】 050-3737-0026



みどり訪問  
クリニック

Midori HCL

SNSも  
チェック!



Facebook

みどり訪問クリニック



Instagram

@midorihcl



LINE

ID : @169wahvx



新しいスタッフが  
たくさん増えました!

### CONTENTS/目次

P 2 連載 在宅ならではのおすすめグッズ

P 6 連載 みどくり栄養部

P 3 連載 みどりくんの在宅医療コトバンク

P 7 連載 スタッフ紹介のコーナー

P 4 特集 新入職員にインタビュー!

P 7 連載 MIDORI COLUMN

P 6 連載 みどくり図書館

P 8 お知らせ MIDORI INFORMATION

保存版

スタッフの知恵を伝授!

在宅ならではの  
おすすめグッズ

連載第7回

「こんな時困ったなあ」  
「便利な物ないのかな？」  
訪問であるあるの悩みに  
当院スタッフが  
実際に使ってみて  
おすすめできるグッズを  
紹介します!

モンベル

L.W.トレールチェア



袋付き!

## 負担を軽減! 組み立て簡単な簡易チェア

在宅医療の現場では、訪問先でのバイタル測定、処置、説明、記録など、中腰・しゃがみ姿勢を取る場面が非常に多く、膝痛を抱えるスタッフにとっては大きな身体的負担となります。「少し座れたら楽なのに」と感じる瞬間は少なくありません。そうした現場で有用なのが、軽量で携行可能な簡易チェアの活用です。

モンベルのL.W.トレールチェアは、約300~500g台と非常に軽量で、スタッフバッグ付きのため訪問バッグにも無理なく収まります。在宅医療では荷物が多くなりがちですが、「軽量である」ことは持ち運びの心理的・身体的ハードルを大きく下げます。必要なときにさっと取り出せる点は、現場での実用性に直結し

ます。

また、このチェアは高さが3種類あり、利用場面や身体状況に応じて選択できます。低めの高さは患者さんと視線を近づけたい場面に適しており、高さのあるモデルは立ち座り時の膝への負担を軽減します。膝痛があるスタッフにとって、「立ち上がりやすさ」は作業継続の可否を左右する重要なポイントです。

さらに、モンベル製品であることも大きな安心材料です。アウトドアで培われた耐久性・安定性・安全性は、在宅医療のように床環境が一定でない場面でも信頼できます。簡単に組み立てられ、安定して座れる構造は、訪問先で余計な気遣いを減らします。

このような簡易チェアは

「贅沢品」ではなく、膝痛の悪化を防ぎ、長く現場で働き続けるためのセルフケアツールです。身体的負担を減らす工夫は、結果としてケアの質と持続性を高めます。在宅医療に携わる膝痛に悩むスタッフにとって、非常に実用性の高い選択肢といえるでしょう。



## みどり訪問クリニック スタッフ紹介のコーナー

みどり訪問クリニックの  
スタッフ大公開!

診察時に会うスタッフは真面目で仕事モード。しかしそんなスタッフも十人十色で個性的なんです!

事務次長・薬剤師

覚前 有希子さん

好きな食べ物は  
うなぎ、マンゴー  
ハンバーガー



アンコールワット  
での写真です♪

「もっと在宅医療に携わりたい」とこの世界に飛び込みました。現在は事務部門でスタッフを支えつつ、在支診薬剤師として貢献できる形を模索する毎日です。

根っからの旅行好きで、以前は毎年海外へ。異文化の食や風景に触れるのが楽しみでした。今は家族と愛犬との宿巡りが楽しみで、船で北海道へ行くのが夢です! 観劇やコンサートも大好き。仕事も趣味も全力で楽しみたいと思っています。よろしくお願いします!

## 院内のぶち情報 MIDORI COLUMM

### ストレス発散! ミットdeフィット開催!



新企画「ミットdeフィット」が、1月から月1回の頻度で開催することになりました! ミット打ちでパンチやキックを繰り返すことで、ストレス発散することができます。キックボクシング経験のある事務長が先導してくれるため、初心者でも安心!



グローブの用意があるため、手ぶらで“キックボクシング感”を味わうことができます。短時間でも汗をかけるので、仕事の合間にちょうどいい気分転換になり、スタッフから好評です!

医療事務  
山口千夏さん

みどり訪問クリニックを選んだ理由は何ですか？

これまで医療事務として勤務してきましたが、今後さらに重要性が高まる在宅医療の分野で、より専門的な知識（在宅診療報酬など）を身につけたいと考えました。みどり訪問クリニックは地域に深く根ざしており、患者様一人ひとりの生活に寄り添う医療を実践されている点に魅力を感じたからです。

実際に入職してみてどんな印象ですか？

どの職種も「お互い様」という



支え合いの文化が根付いていることに驚きました。急な子供の体調不良などにも理解があり、職種を問わずサポートし合える風通しの良さがあります。また、効率化が進んでいるため残業が少なく、仕事と家庭を無理なく両立できています。事務職もチーム医療の重要な一員として尊重されるため、限られた勤務時間の中でも大きなやりがいを感じ、前向きに業務に取り組んでいます。

# 新入職員にインタビュー！

みどり訪問クリニックに新入職員がたくさん入ってくれました。今回は新入職員の皆さんにインタビューをしてみたいと思います！

スタッフ合計  
56名になりました！



看護師  
山岸瞳さん

みどり訪問クリニックを選んだ理由は何ですか？

病院や有料老人ホームで勤務する中で、多くの方が「家に帰りたい」という強い思いを持っていることを実感してきました。その願いを叶え、在宅で生活される方が



安心してその人らしく生きられるよう、生活環境や個々の状況に寄り添いながら支えたいと思い、入職を決めました。在宅医療は初めての分野ではありますが、これまでの経験を活かしつつ、幅広い視点を身につけられるよう日々努めていきたいと考えています。

実際に入職してみてどんな印象ですか？

多職種間の連携が非常に密で、情報共有がしっかりと行われている点に大きな驚きを感じました。様々な疾患や生活背景を持つ患者様一人ひとりに対し、あらゆる視点から丁寧な介入が図られており、その方らしい生活を守るための体制がしっかりと整っていると感じています。今後は自分もその一員として貢献できるよう努めていきたいです。

医療事務  
松田絢子さん

みどり訪問クリニックを選んだ理由は何ですか？

在宅医療をやりたいという長年の思いがあったため、地域の機能強化型の在宅医療で働きたいため、休みがとりやすく家庭と両立しやすいと感じたためです。

実際に入職してみてどんな印象ですか？

業務がタスク化されていて、膨大な業務量の見える化が業務を効率化していると感じました。



看護師  
倉田理華子さん

みどり訪問クリニックを選んだ理由は何ですか？

救急外来・外来での経験から、患者様の生活や価値観を踏まえた支援の重要性を実感し、退院後の生活まで見据えた継続的な支援に携わりたいと考えようになりました。また、結婚を機に名古屋へ転居したことをきっかけに、地域に根ざした医療に貢献しながら在宅医療の基礎を学べる当院を選択しました。



実際に入職してみてどんな印象ですか？

医師主体で診療が進む中で、看護師としての役割の違いを学ぶ日々です。一方で、多職種と連携しチームで患者様を支える重要性を実感しています。

総務  
合浜久実さん

みどり訪問クリニックを選んだ理由は何ですか？

一般的な外来とは違う訪問診療に興味があったこと、

実際に入職してみてどんな印象ですか？

実際に業務に携わりまだわからないことや知らないことも多々あり、毎日あっという間に過ぎていきますが、総務の中でもミスが減らす為の業務改善を実行されていてこれも「賢明に働く」ということなのだ実感しました。今後、自分でも改善できることはないか考えながら働いていきたいと感じました。



# みどくり図書館 vol.5



オススメ  
します!

院長  
姜琪鎬

在宅医療・介護の現場では、病名やADL評価だけでは把握しきれない「その人の生活全体」をどう理解し、どう支えるかが重要になります。本書『マンガと図説で見てわかるICF (国際生活機能分類) の使いかた』は、ICF (国際生活機能分類) をマンガと豊富なイラスト、図解を用いてわかりやすく解説した入門書です。専門用語が多く、難しい印象を持たれがちなICFですが、本書では「ICFが苦手」「何から理解すればいいかわからない」と感じている方でも、視覚的に理解できる工夫が随所に盛り込まれています。

ICFは「心身機能・身体構造」「活動」「参加」「環境因子」「個人因子」という視点から生活機能を捉える枠組みで、在宅医療・介護のアセスメントや支援方針の整理に非常に有効です。本書では、具体的な事例を通して、生活上の困りごとをどのようにICFで整理し、支援につなげていくのかが丁寧に示されています。そのため、訪問看護師やケアマネジャーが日々の訪問やモニタリング、ケアプラン作成を見直す際のヒントとしても活用できます。

また、ICFは多職種連携における「共通言語」としても大きな力を発揮します。本書を通してICFの視点を共有することで、医師、看護師、リハビリ職、介護職、ケアマネジャーが同じ枠組みで利用者の生活像を捉えやすくなり、サービス担当者会議やカンファレンスでの意見交換がスムーズになります。ICFに苦手意識のある方から、多職種での会議や連携をより充実させたい方まで、在宅医療・介護の現場にぜひ取り入れたい一冊です。

管理栄養士監修!

# #みどくり栄養部 vol.5

## 花粉対策も腸活から!

先月に引き続き、健康の鍵を握る「腸」に注目しましょう。花粉が気になるこの時期、免疫細胞が集中する腸内環境を整えることは、過剰なアレルギー反応を抑えることにも繋がります。

今月は、善玉菌をサポートする春キャベツや新玉ねぎに、抗炎症作用のあるDHA・EPAを豊富に含むサバ缶を組み合わせたレシピをご紹介します。旬の野菜と青魚の力で、ムズムズする季節を健やかに乗り切りましょう!

## 春野菜のサバ缶和え



約  
160  
kcal 約5分

### 材料(2人前)

- ・春キャベツ：150g
- ・新玉ねぎ：1/4個
- ・サバ水煮缶：1缶
- ・☆ 酢：小さじ2
- ・☆ 醤油：小さじ1
- ・☆ ごま油：少々
- ・すりごま：少々

### 作り方

- ①春キャベツはざく切り、新玉ねぎは薄切りにする。
- ②ボウルに①、ほぐしたサバ缶、☆の調味料を入れよく和える。
- ③器に盛り、すりごまをふって完成!



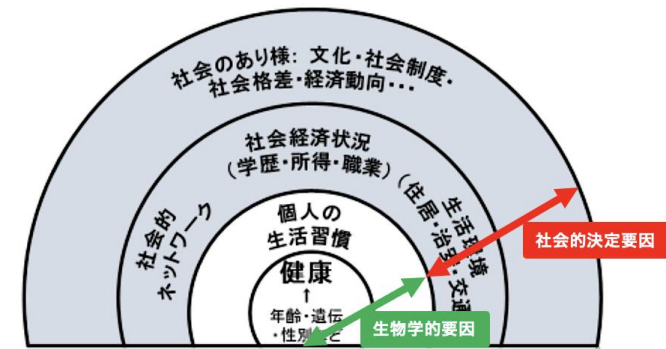
いまさら聞けない!

## 社会的処方って何?

「社会的処方」という言葉の「処方」にピンとこない方は少なくありません。医療現場では処方=薬、というイメージが強いためです。社会的処方という「処方」は、薬を出すことではなく、その人の健康に影響している生活や社会との関係性に目を向け、環境やつながりを整えていく関わり方を比喩的に表現した言葉と理解すると分かりやすくなります。

## 健康の社会的決定要因

私たちは日々の実践の中で、病気の背景に孤立、経済的困難、就労や住環境の問題、役割喪失などが重なっていることを経験しています。これらは「健康の社会的決定要因」と呼ばれ、本人の努力や意識だけでは変えにくい要素です。医療や介護の支援がうまくいかないとき、その人個人ではなく、置かれている社会的状況に課題がある場合も少なくありません。



健康リスクである**社会的決定要因**は個人ではコントロールできない!

## 人との「つながり」

人との「つながり」は、健康に強い影響を与える重要な要素です。社会的に孤立している状態は死亡リスクを高める一方で、良好な人間関係は禁煙に匹敵するほどの長生き効果を持つことが示されています。この視点は、医学的介入だけでは限界を感じやすい在宅医療の現場において、特に重要です。

## 社会的バイタルサインとは

社会的バイタルサイン: HEALTH+P	
項目	内容
Human network and relationships	人とのつながりと人間関係
Employment and income	収入、仕事内容、労働環境など
Activities that make one's life worth living	趣味、活動、生きがい
Literacy and Learning environment	ヘルスリテラシー (健康観)、幼少期の教育環境、学歴など
Taking adequate food, shelter and clothing	食事・嗜好品、住居、地域 (衛生、商店、交通/連絡手段、公園) など
Health care systems	保健・医療・福祉・介護サービス
Patient preference/values	本人の意向、価値観、性格など

患者さんの背景にある**社会的決定要因**がわかる

社会的処方は、①社会的課題を把握する、②地域の資源や人につなぐ、③生活に伴走し続ける、というプロセスで実践されます。その際に重視されるのが「社会的バイタルサイン」という考え方で、疾患名や検査値だけでなく、生活背景や社会状況をチームで共有し、評価する視点です。

在宅医療に携わる多職種にとって社会的処方は、新しい技術や特別な制度ではありません。日頃行っている「気づく」「聴く」「つなぐ」「見守る」といった実践を、共通の視点と言葉で整理したものです。「処方」という言葉は、その人に合った関わり方を意図的に選び、チームで実行していく姿勢を表しているといえるでしょう。

## MEMO

社会的処方が  
わかりやすく解説  
されている  
動画はこちら!

